

山県市次世代育成支援に関する 意向調査の概要

．調査の概要

1．調査目的

この調査は、就学前児童（０～５歳）と、小学校児童（小学校１～６年生）を持つ親の、保育等に対するニーズを把握することにより、子育てに対するサービスの充実を図ることを目的として実施したものである。なお、この調査結果は、山県市の保育サービス等の必要量やそのあり方を検討する資料として活用する。

2．調査設計

	就学前児童	小学校児童
(１)調 査 地 域	山県市全域	
(２)調 査 対 象	山県市に居住する０歳～５歳までの児童を持つ親	山県市に居住する小学校１年生～６年生までの児童を持つ親
(３)標 本 数	１，０１７サンプル	１，２８６サンプル
(４)抽 出 方 法	悉皆調査	
(５)調 査 方 法	郵送配布留置き、郵送回収 保育園による配布、回収 幼稚園による配布、郵送回収	小学校による配布、回収
(６)調 査 時 期	平成２１年１月１９日～平成２１年１月３０日	

3．回収結果

	対象者	配布数（長子数）	有効回収データ
就学前児童	１，４２１	１，０１７	８１４
小学校児童	１，７４０	１，２８６	１，１８７

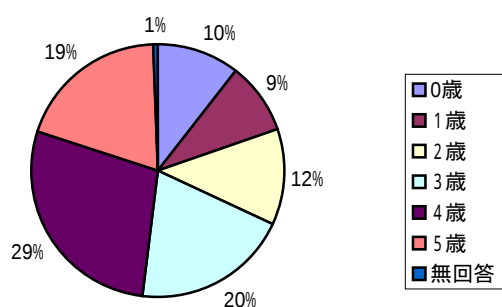
. 調査結果の分析

1 子どもの年齢

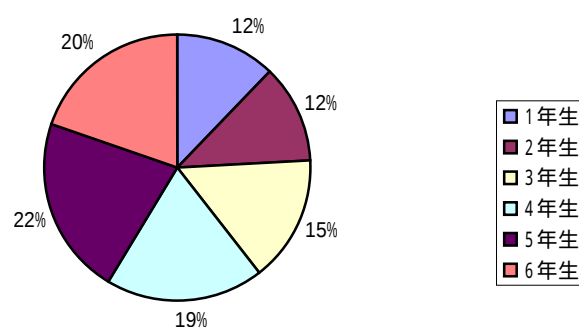
就学前の子どもの年齢は、「0歳」が10%、「1歳」が9%、「2歳」が12%、「3歳」が20%、「4歳」が29%、「5歳」が19%で3歳児以降の割合が少し高くなっている。

小学生の子どもの学年では、「1年生」が12%、「2年生」が12%、「3年生」が15%、「4年生」が19%、「5年生」が22%、「6年生」が20%で、4年生以降の割合が少し高めとなっている。

【就学前児童】



【小学生児童】

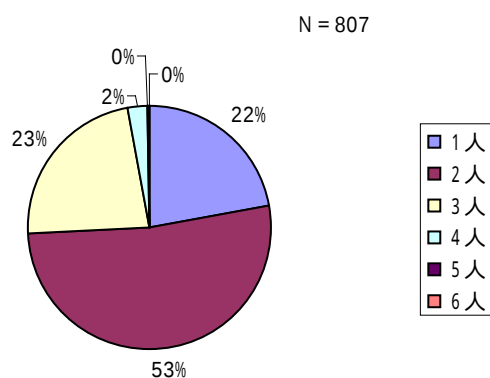


2 子どもの人数

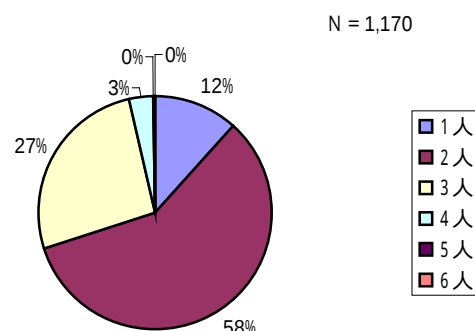
就学前児童の子どもの人数は、平均 2.08 人である。「2人」が53%と最も高い。

小学校児童の子どもの人数は、平均 2.22 人である。「2人」が58%と最も高い。

【就学前児童】



【小学生児童】

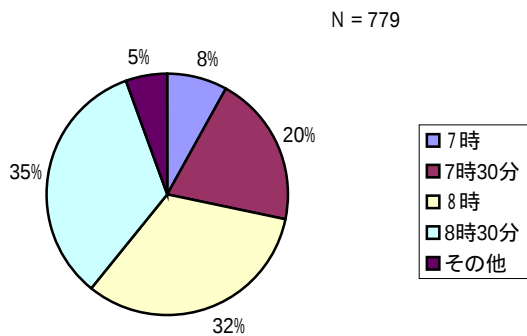


3 保育サービスの利用状況（就学前児童）

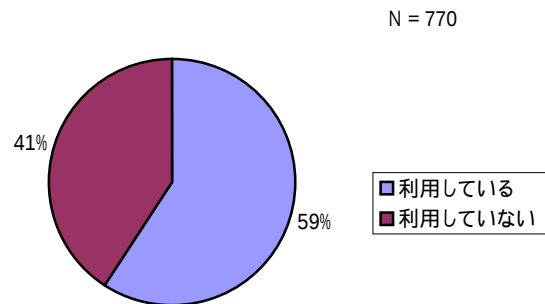
希望する開始利用時間は、「8時30分」が35%、「8時」が32%、「7時30分」が20%、それ以外の時間は、10%未満である。現在「保育サービスを利用している」が59%で約6割の人が利用している。

子育て支援サービスの利用では、「認可保育所」が416人と一番高く、次に「幼稚園」が52人となっている。

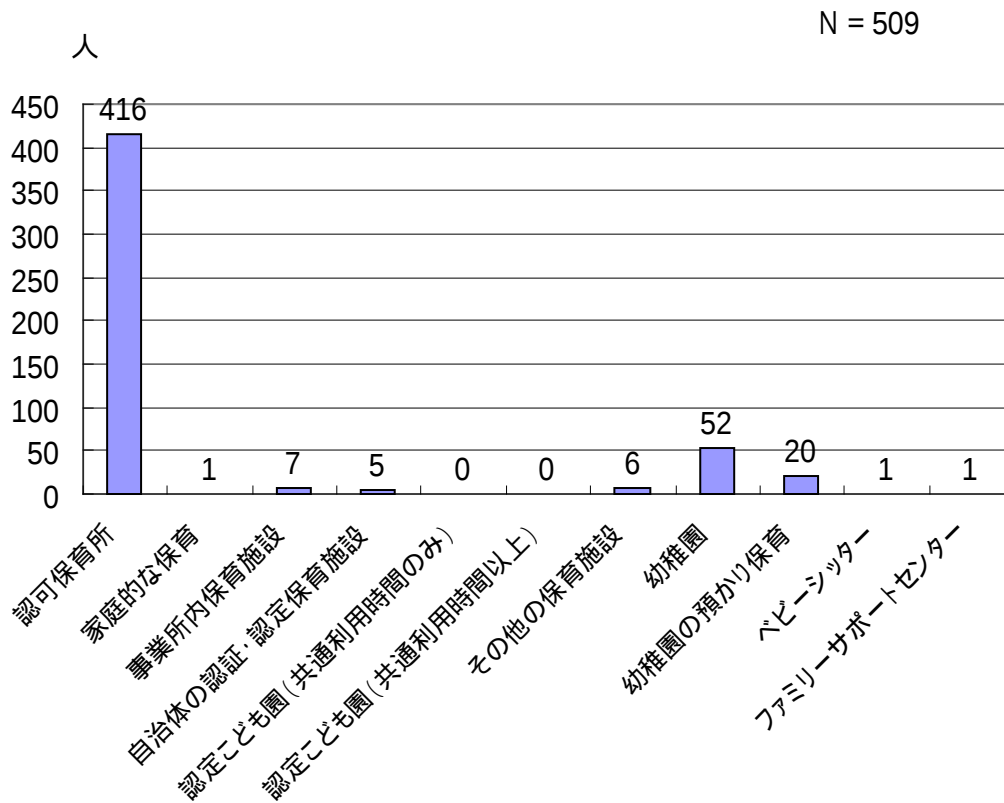
【希望する開始利用時間】



【現在の保育サービス利用の有無】



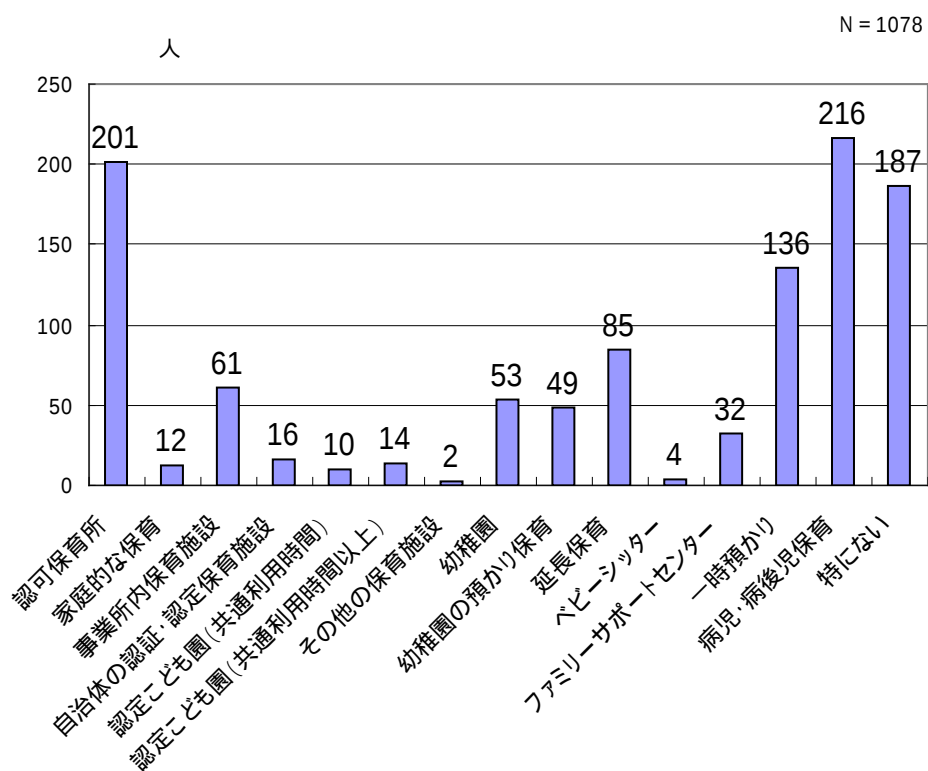
【子育て支援サービスの利用】



4 保育サービスの利用意向（就学前児童）

今後利用したい保育サービスは、「病児・病後児保育」が216人で一番多く、次に「認可保育所」201人となっている。一時預かりは136人となっている。

【今後利用したい保育サービス】

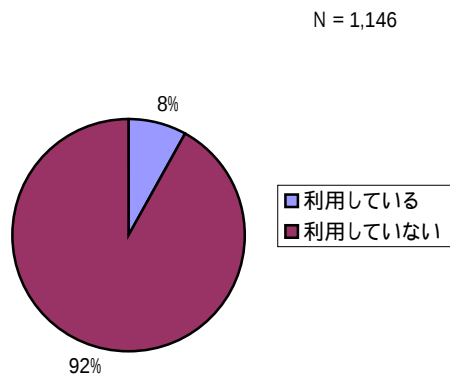


5 放課後児童クラブの利用（小学生児童）

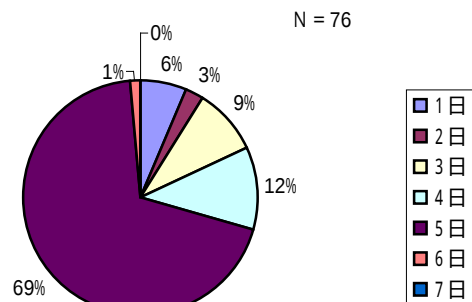
放課後児童クラブを「利用している」が 8%である。

利用している親の利用日数は「5 日」が 69%、「4 日」が 12%、「3 日」が 9%となっている。

【放課後児童クラブの利用】

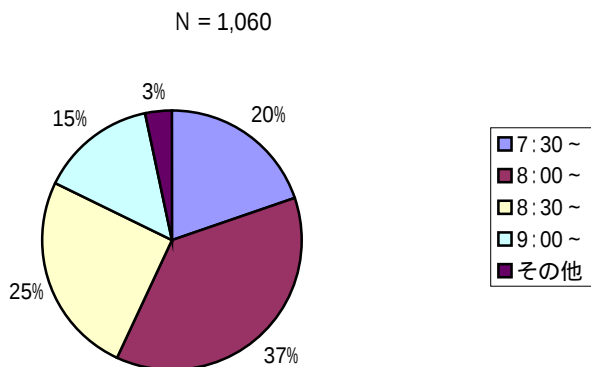


【利用日数】



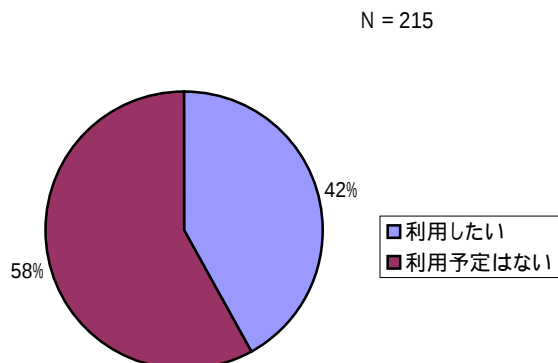
【長期休業期間の放課後児童クラブの希望開始時間】

長期休業期間の放課後児童クラブの希望開始時間は、「8 時」が 37%、「8 時 30 分」が 25%、「7 時 30 分」が 20%となっており、早朝からの希望は、2 割ある。



【放課後児童クラブの利用意向（平成 21 年度就学予定児童）】

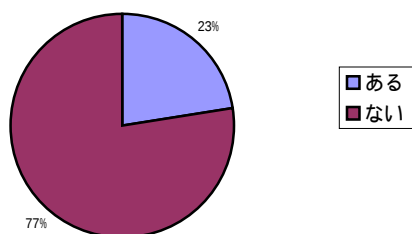
来年度就学予定の児童を持つ保護者の放課後児童クラブを利用したい人は、約 4 割の人が希望している。



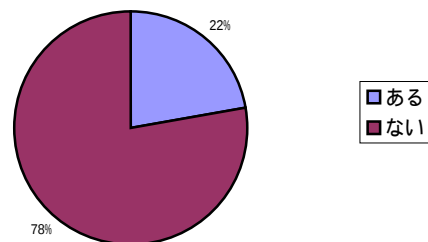
6 一時預かりの状況

1年間に使用やりフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため家族以外誰かに預けたことがあったのは、就学前児童が23%、小学生児童が22%でほぼ同じ割合であった。

【就学前児童】 N = 770

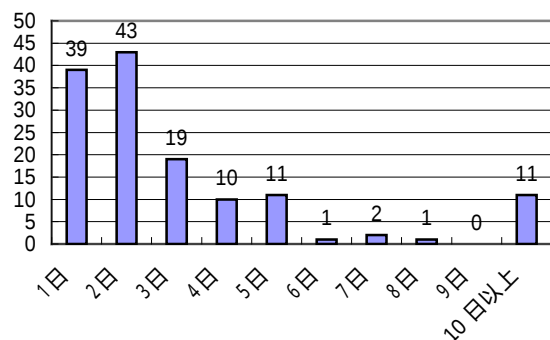


【小学生児童】 N = 143

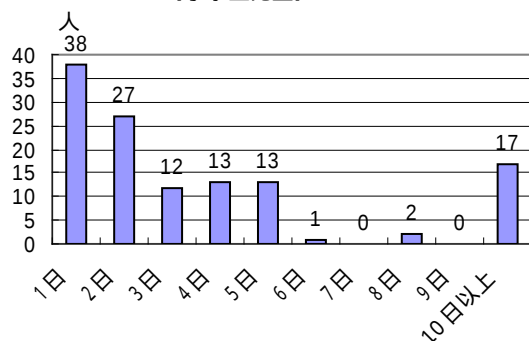


【今後利用したい利用日数】

人 【就学前児童】 N = 137

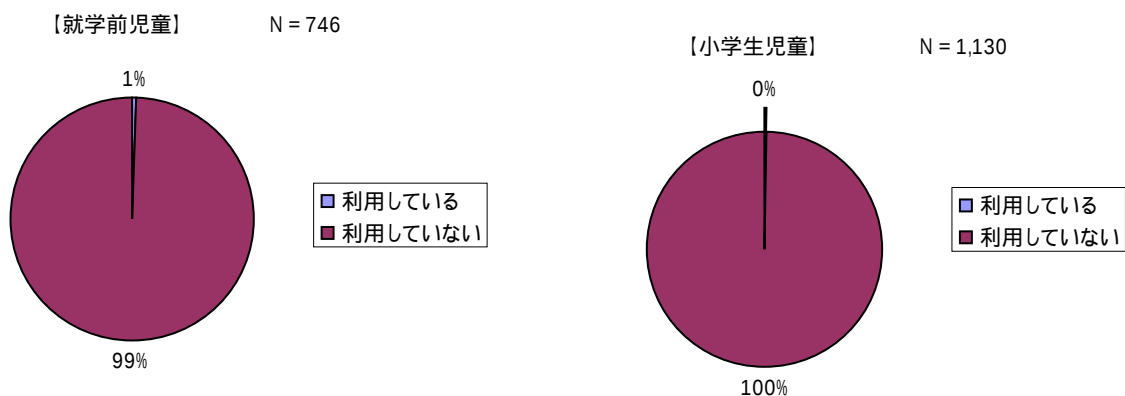


人 【小学生児童】 N = 123



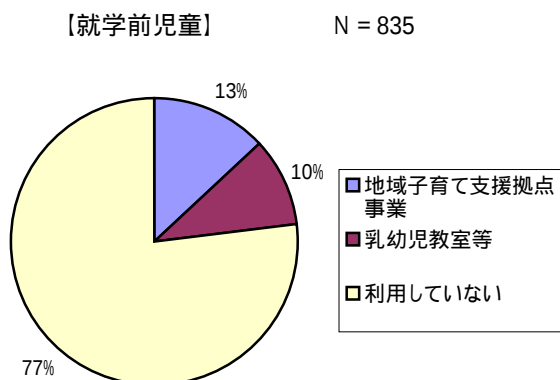
7 ファミリーサポートセンターの利用状況

ファミリーサポートセンターを利用している人は、就学前児童では、1%で5人、小学生児童では、0%であるが3人の利用である。



8 地域子育て支援拠点事業の利用状況（就学前児童）

地域子育て支援拠点事業を「利用している人」は 13%、「乳幼児教室」を利用している人は 10%で、「利用していない」人は、77%となっている。

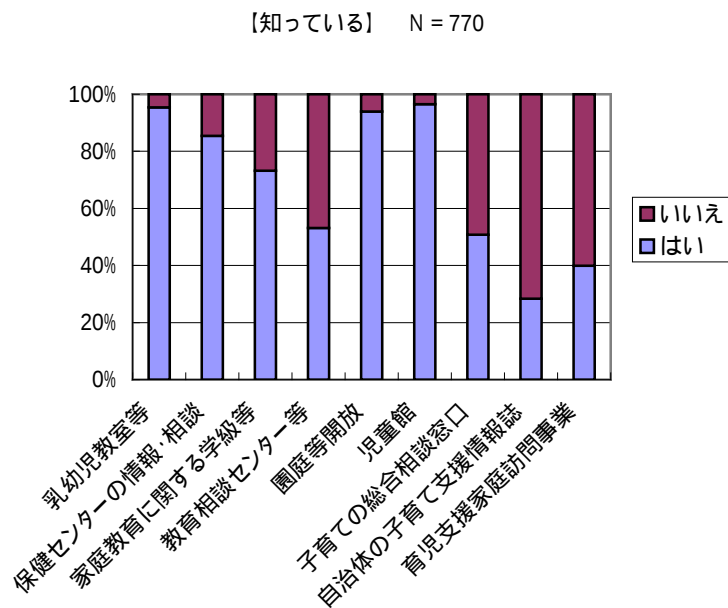


9 子育て支援サービスの認知度・利用度

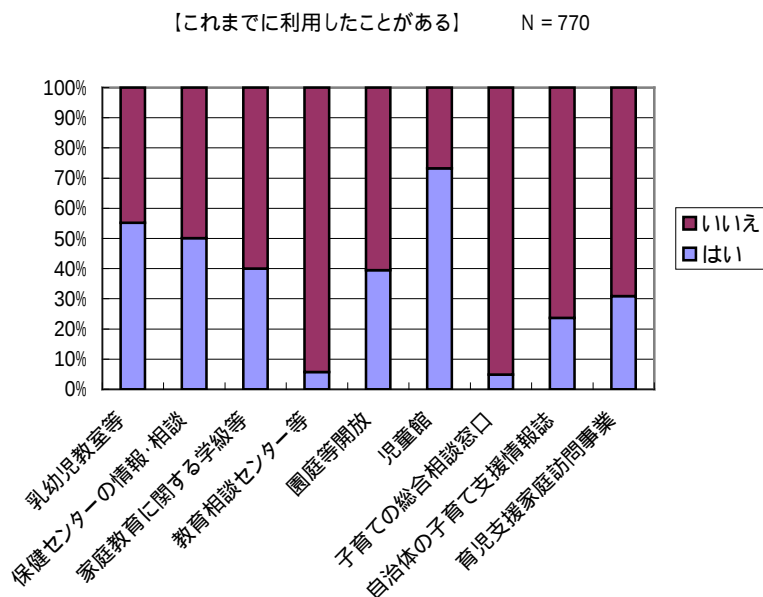
子育て支援サービスを知っているのは「児童館」、「乳幼児教室等」、「園庭等開放」が高い。低いのは、「自治体の子育て支援情報誌」、「育児支援家庭訪問事業」、「子育ての総合相談窓口」となっている。

子育て支援サービスを利用したことがあうのは、「児童館」、「乳幼児教室等」、「保健センターの情報・相談」が高い。低いのは、「子育て総合相談窓口」、「教育相談センター等」となっている。

【子育て支援サービスの認知度】



【子育て支援サービスの利用度】

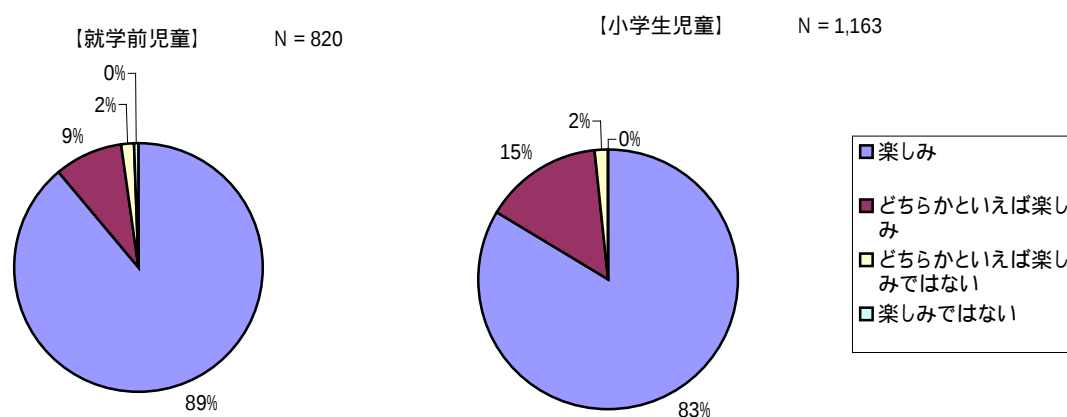


10 子育てに関する意識

(1) 子どもの成長は楽しみか

就学前児童では、子どもの成長は「楽しみ」が89%で最も多く、「どちらかといえば楽しみ」が9%であり、あわせると98%が『楽しみ』と回答している。

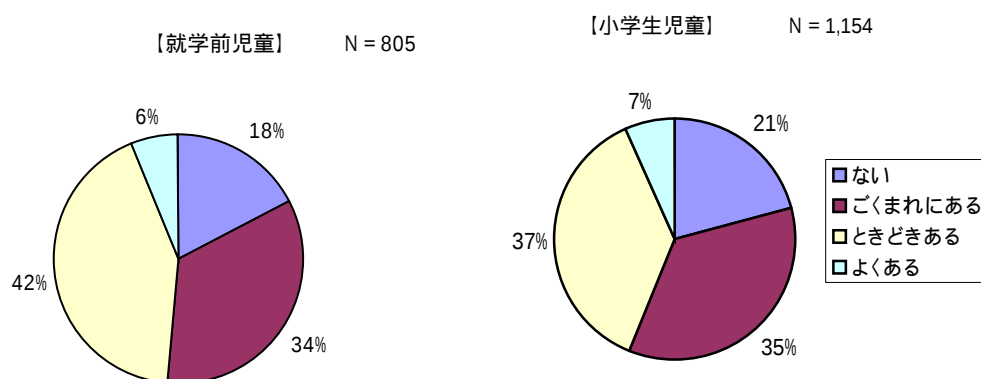
小学生児童では、子どもの成長は「楽しみ」が83%で最も多く、「どちらかといえば楽しみ」が15%であり、あわせると98%が『楽しみ』と回答している。



(2) 子育てに自信がもてなくなることがあるか

就学前児童では、「ときどきある」が42%で最も高く、「ごくまれにある」が34%、「よくある」が6%であり、頻度の差があるものの82%が子育てに自信が持てなくなることが『ある』と回答している。

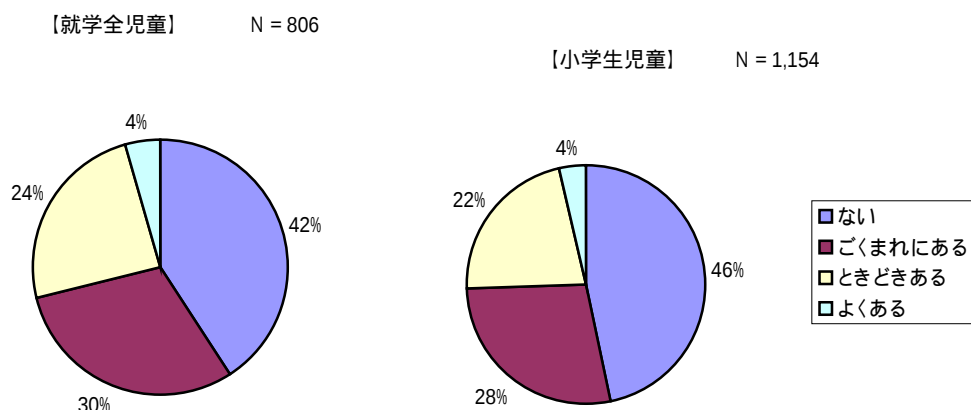
小学生児童では、「ときどきある」が37%で最も高く、「ごくまれにある」が35%、「よくある」が7%であり、頻度の差があるものの79%が『ある』と回答しており就学前児童と同様な傾向がある。



(3) 子育てがいやになることがあるか

就学前児童では、「ごくまれにある」が 30%、「ときどきある」が 24%、「よくある」が 4%であり、頻度の差があるものの 58%が『ある』と回答している。

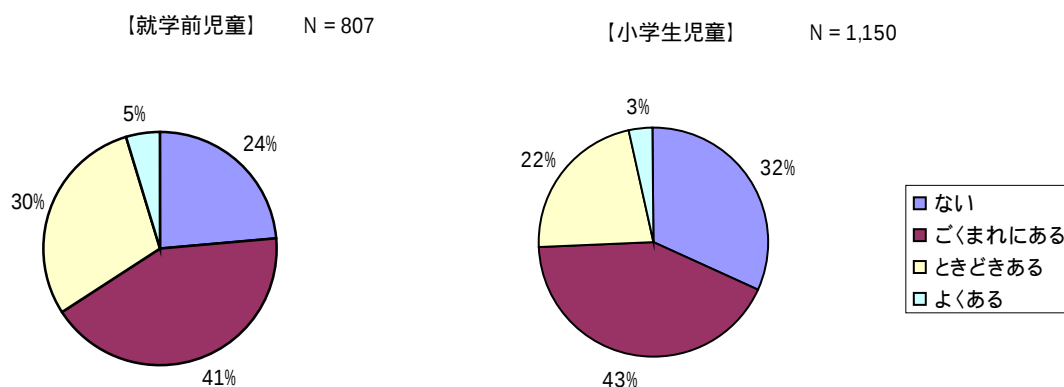
小学生児童では、「ごくまれにある」が 28%、「ときどきある」が 22%、「よくある」が 4%であり、頻度の差があるものの 54%が『ある』と回答している。



(4) カッとして子どもをたたいてしまったりすることがありますか

就学前児童では、「ごくまれにある」が 41%と最も高く、「ときどきある」が 30%、「よくある」が 5%であり頻度の差があるものの 76%が『ある』と回答している。

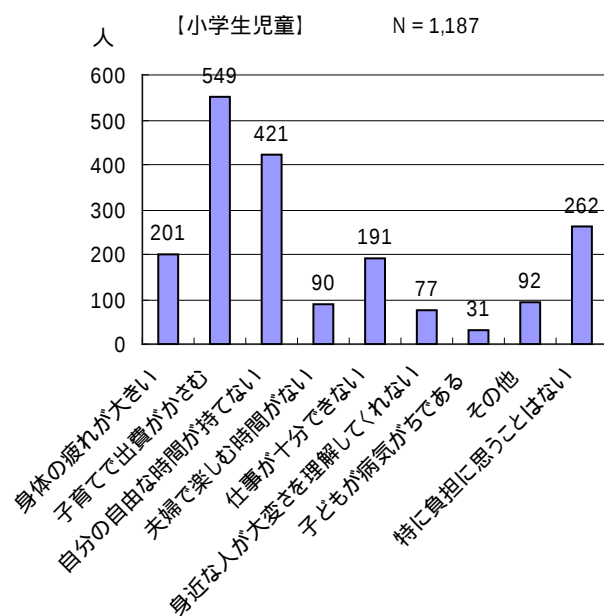
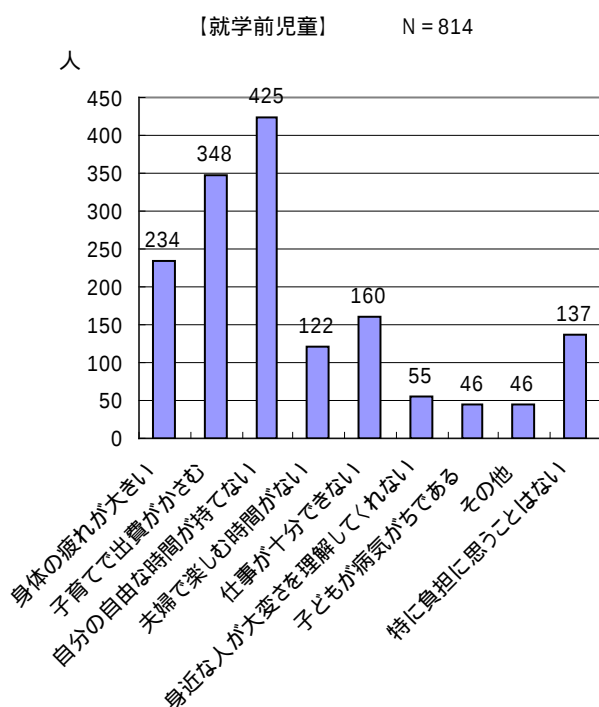
小学生児童では、「ごくまれにある」が 43%と最も高く、「ときどきある」が 22%、「よくある」が 3%であり頻度の差があるものの 68%が『ある』と回答している。



1.1 子育てで負担に感じること（複数回答）

就学前児童では、「自分の自由な時間が持てない」が425人と最も多くなっている。次に「子育てで出費がかさむ」が348人、「身体の疲れが大きい」が234人、「仕事が十分できない」が160人となっている。一方、「特に負担に思うことはない」が137人ある。

小学生児童では、「子育てで出費がかさむ」が549人と最も多くなっている。次に「自分の自由な時間が持てない」が421人、「身体の疲れが大きい」が201人、「仕事が十分できない」が191人となっている。一方、「特に負担に思うことはない」が262人ある。



1.2 子育てに関して悩んでいること、気になること（複数回答）

就学前児童では、「子どもの教育に関すること」が235人で一番多く、次に「食事や栄養に関すること」221人、「病気や発育・発達に関すること」197人、「子どもとの時間を十分にとれない」が190人、「友だちづきあい」が161人となっている。

小学生児童では、「子どもの教育、塾、進路に関すること」が418人と最も多く、次に「友だちづきあいなど、対人関係に関すること」が323人、「子どもとの時間が十分にとれない」が257人となっている。

